

A-13 パンチカードによる交通調査資料の整理について

名古屋工業大学 渡辺新三

道路の交通量調査は道路計画その他の交通計画の基礎調査として非常に重要なものである。しかしこの調査には莫大な調査員と時間一從つて費用を必要とし簡単に行う事は困難である、そこで此の調査を出来るだけ簡単にし、しかも正しい結果を得るために Sampling Method の考え方等を取り入れて、調査そのものを簡略化する試みも行はれているがこの様な推論的な考え方を取り入れるためには調査対象となる交通流がある数式であらわされるものでなければ都合が悪い。(例えば Poisson 分布等がこのためによく用いられる) 所が都市内の道路上の交通量は、特に交叉点や附近では地方の道路とはちがつて非常に複雑で簡単に数式であらわす事が困難である。従つてこの様な交通流が調査の対象となる場合にはどうしても幾段分の専用カード一実感調査が必要になる。所がこの調査はある一つの目的にて交通量の算出その他の調査等の為めに都合のよい方法で整理され累計、積算等に対する資料を他の目的に利用し様とする場合に非常に不便であり従つて計算を難解か一部の目的に割りきれたのみでござり見られない場合が多い。そこでこの資料をあらゆる角度から利用出来る様に Punch Card によって整理する方法を試みたが比較的良い結果が得られたのでその概要について報告する。

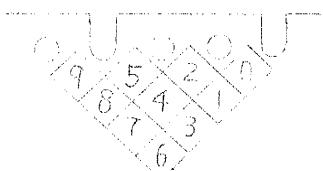


図 - 1

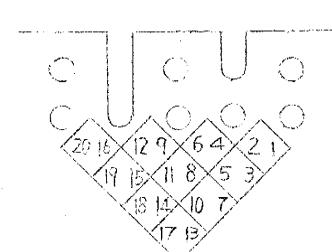


図 - 2

(46)

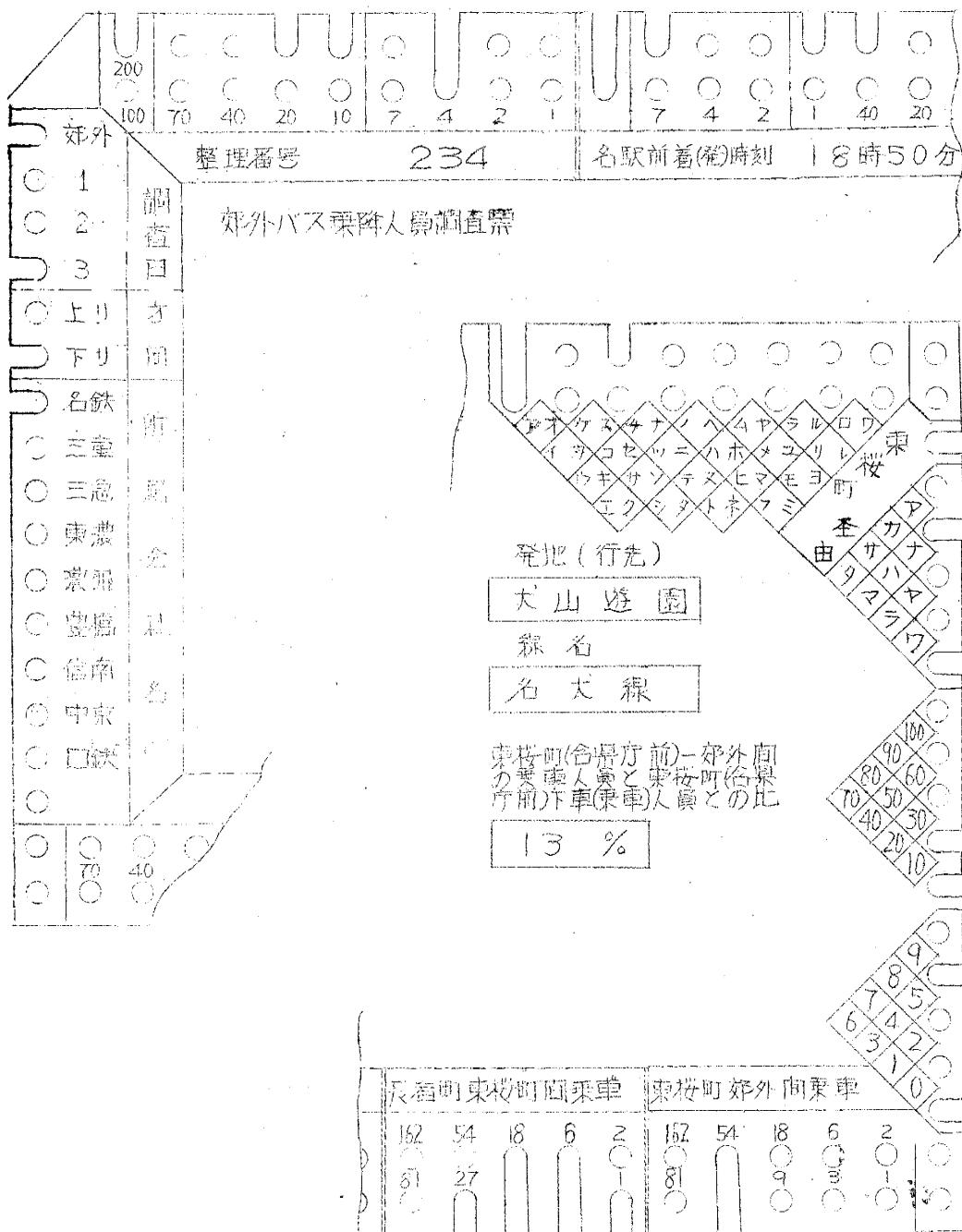


図 - 3